

資料 3 - 2 参考図表

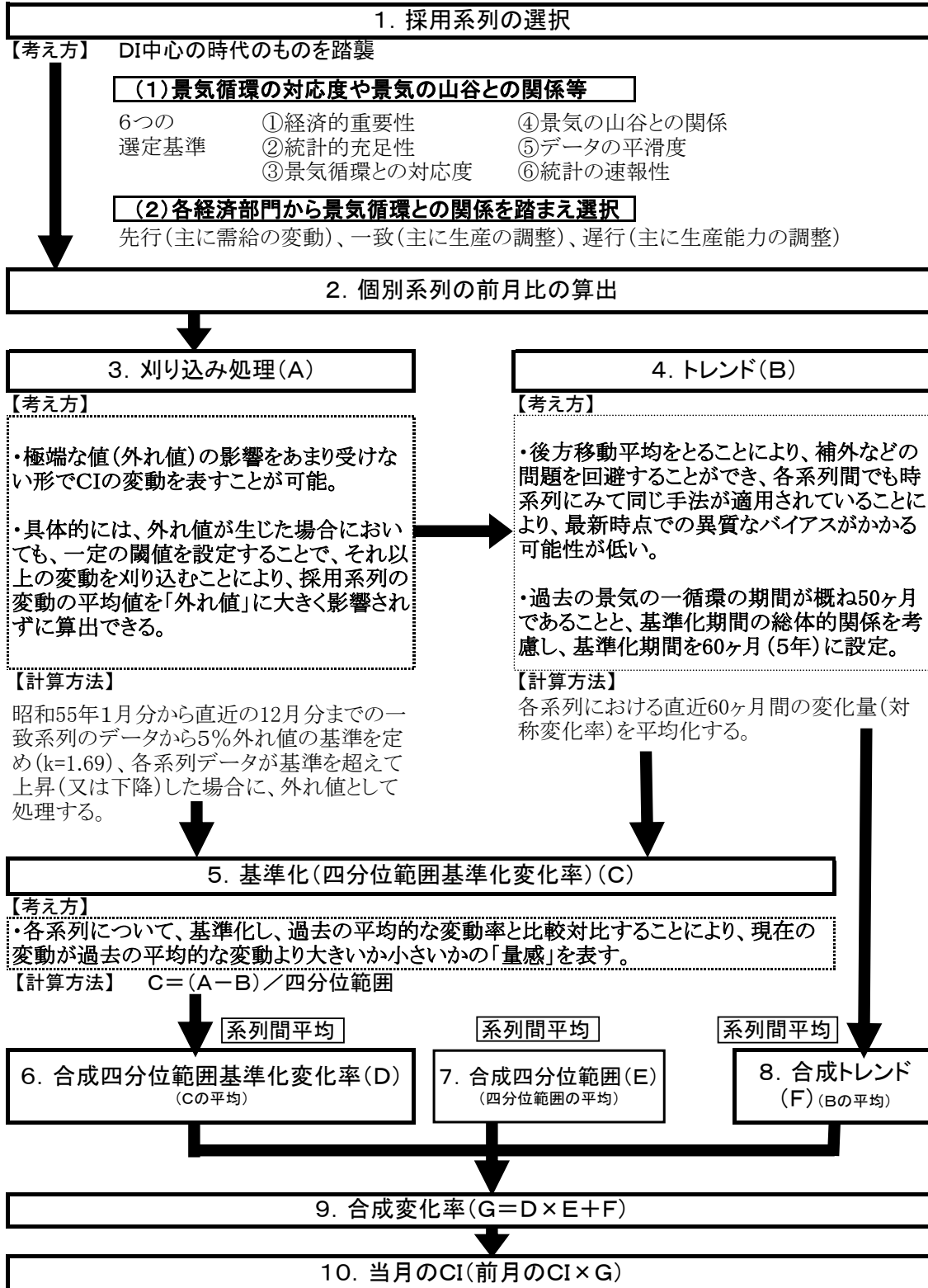
図表1 現行CIのフローチャートと考え方

目的:

景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標であり、主として景気変動の量感を測定する

①各系列について基準化し、現在の変動が過去の平均的な変動より大きいか、小さいかの「量感」を表す。経済活動の量的な側面を表す指標に限らない。

②多様な経済部門の代表的な指標の量感を合成し、全体としての量感を表現。GDP等の量的指標のウェイトとは必ずしも一致しない。



※CIの計算方法についてはおおまかな流れを示したものであり、詳細については「景気動向指数の利用の手引き」を参照のこと。

図表2 量的変動を捉える場合の考え方

	他部門の同時変動	単一指標の循環成分
量感	<p>●現行CIやファクタ・モデルのように多部門、複数の指標から合成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門の広がり、波及度重視 ・主に「変化」に意味 ・各指標の平均的動き(伸び率、振れ幅)に基準化 ・経済活動の量的変動を表さない指標の混在も可能 	
量的変動の水準		<p>●Decompのように単一の指標から抽出</p> <p>●多部門、複数の指標から合成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の動き重視 ・「水準」にも意味 ・基準化はなじまない ・経済活動の量的変動を表す指標が基本 ・部門間のウェイトにより注意が必要

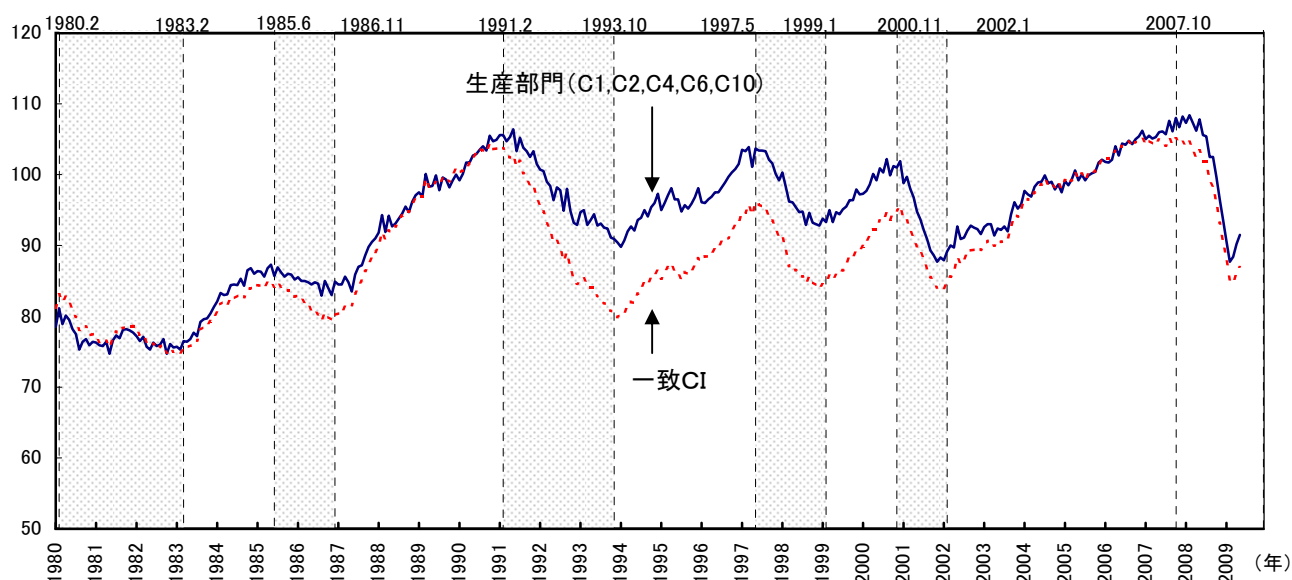
図表3 採用系列の経済部門別内訳

	先 行 系 列	一 致 系 列	遅 行 系 列	系列 数計
生 産		C1:生産指数(鉱工業)(s.a.) C2:鉱工業生産財出荷指数(s.a.) C3:大口電力使用量(s.a.) C4:稼働率指数(製造業)(s.a.) C10:中小企業売上高(製造業)(s.a.)		5
在 庫	L1:最終需要財在庫率指数(逆)(s.a.) L2:鉱工業生産財在庫率指数(逆)(s.a.)			2
投 資	L4:実質機械受注(船舶・電力を除く民需)(s.a.) L5:新設住宅着工床面積(s.a.)	C6:投資財出荷指数(除く輸送機械)(s.a.)	Lg3:実質法人企業設備投資(全産業)(s.a.)	4
雇 用	L3:新規求人数(除学卒)(s.a.)	C5:所定外労働時間指数(製造業)(s.a.) C11:有効求人倍率(除学卒)(s.a.)	Lg2:常用雇用指数(製造業)(m/m) Lg6:完全失業率(逆)(s.a.)	5
消 費	L6:耐久消費財出荷指数(m/m) L7:消費者態度指数	C7:商業販売額(小売業)(m/m) C8:商業販売額(卸売業)(m/m)	Lg4:家計消費支出(勤労者世帯)(m/m)	5
企 業 経 営	L11:投資環境指数(製造業)(s.a.) L12:中小企業売上げ見通しDI(全産業)(s.a.)	C9:営業利益(全産業)(s.a.)	Lg5:法人税収入(s.a.)	4
金 融	L9:長短金利差 L10:東証株価指数(m/m)			2
物 価	L8:日経商品指数(総合42種)(m/m)			1
サ ー ビ ス			Lg1:第3次産業活動指数(対事業所サービス業)(s.a.)	1
系列数計	12	11	6	29

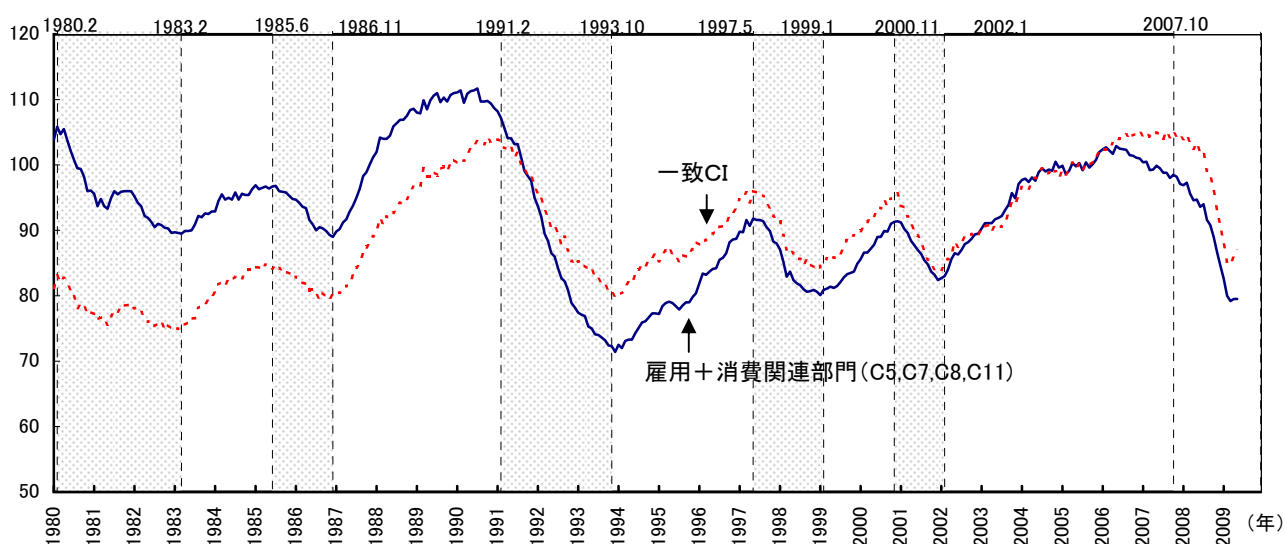
(備考) 系列名の後の(s.a.)は季節調整系列、(m/m)は前年同月比、(逆)は逆サイクルを示す。

図表4 部門ごとの動きと部門均衡型CI

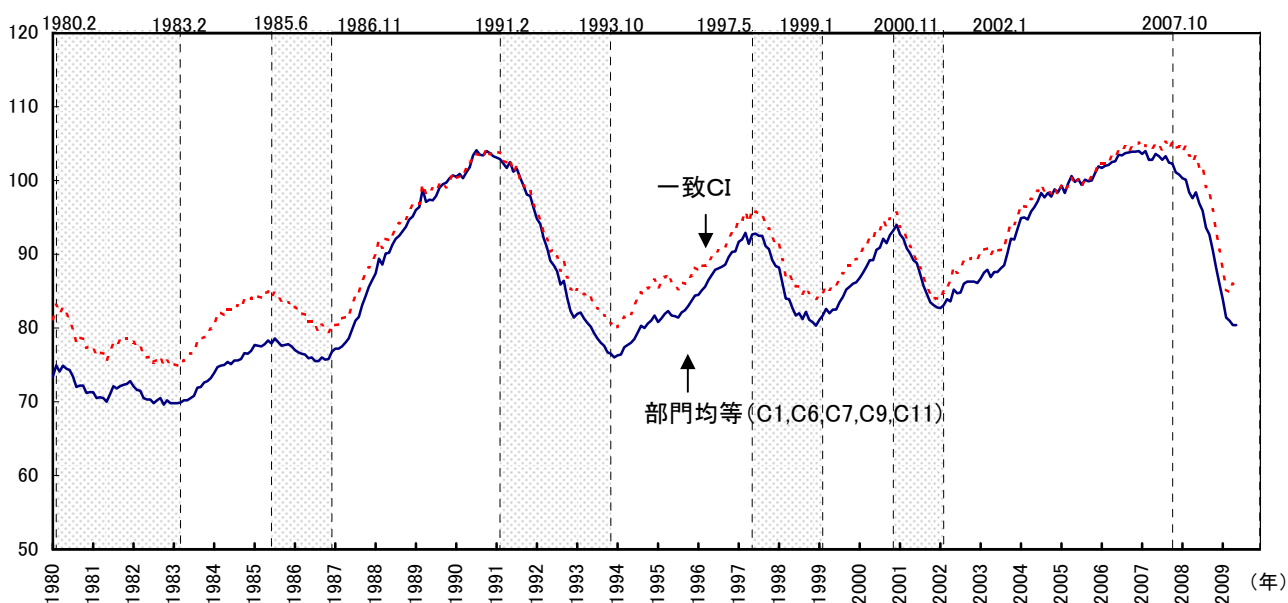
①生産部門(C1,C2,C4,C6,C10)



②雇用+消費関連部門(C5,C7,C8,C11)



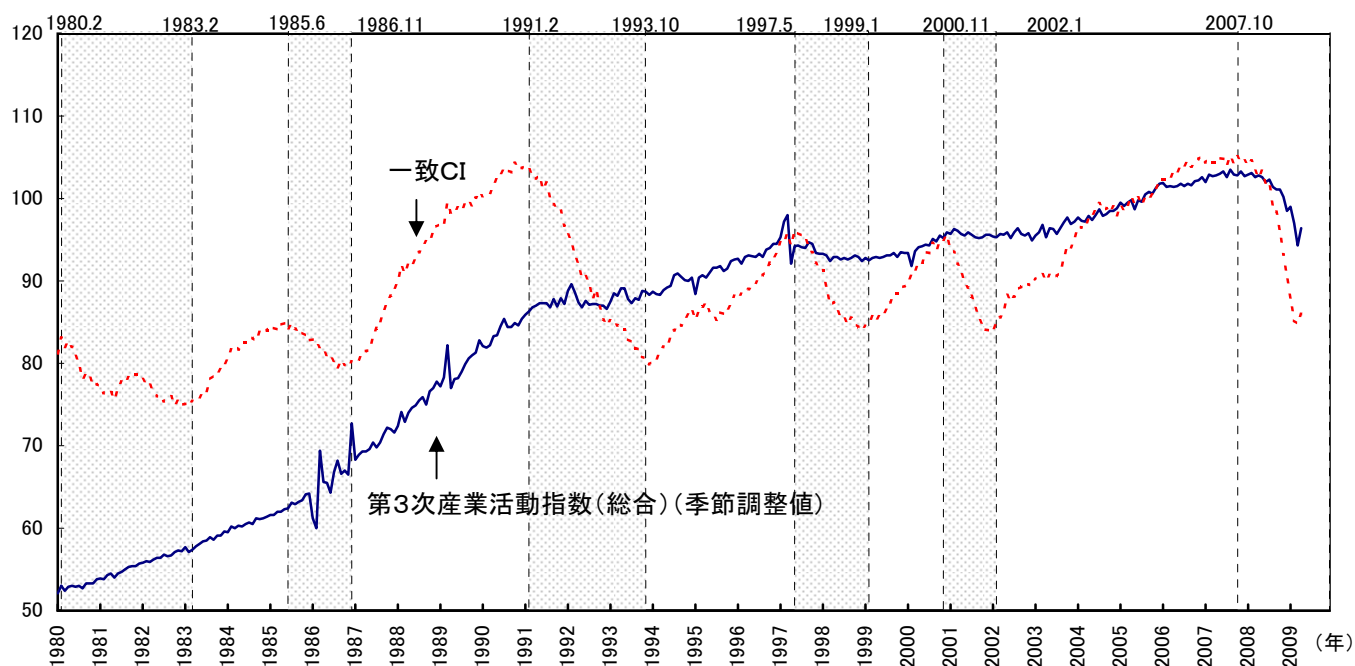
③部門均等(C1,C6,C7,C9,C11)



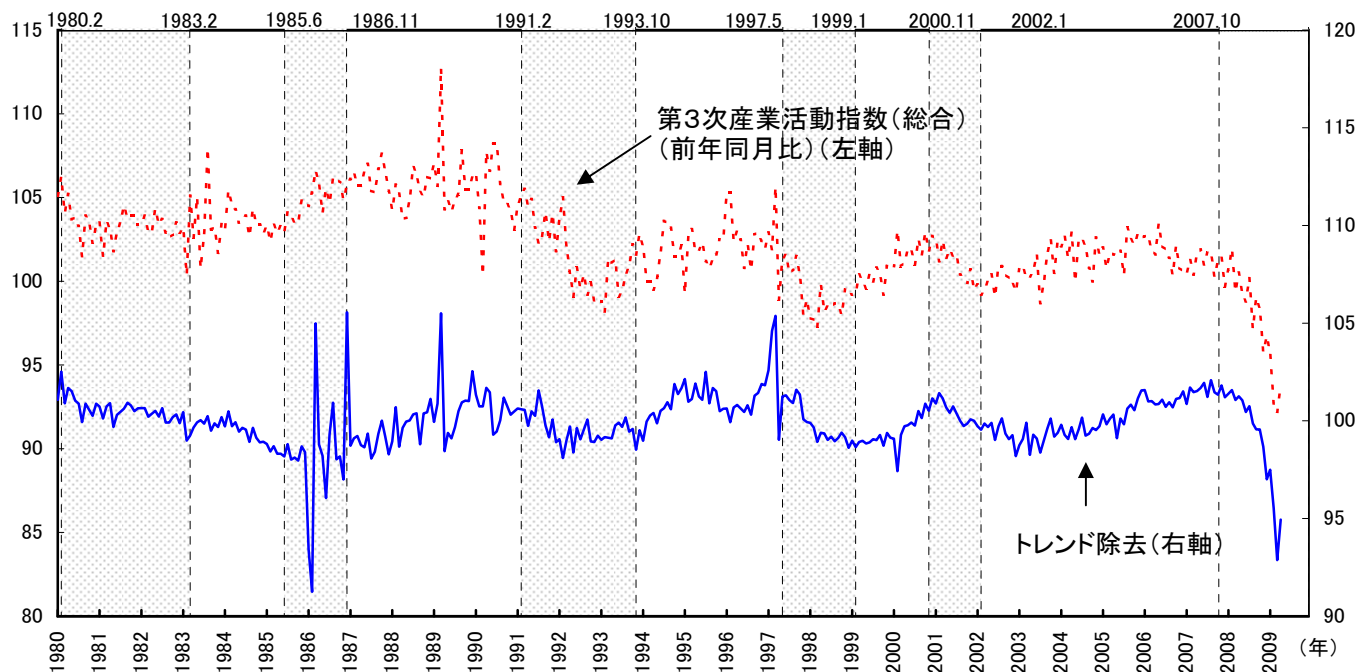
(備考)シャドー部分は景気後退期を示す。ただし、2007年10月に暫定の山を設定しているが、それ以降については、まだ谷が設定されていないことから、シャドーは付けていない。

図表5 非製造業の動き

①第3次産業活動指数(総合)の動き(季節調整値)

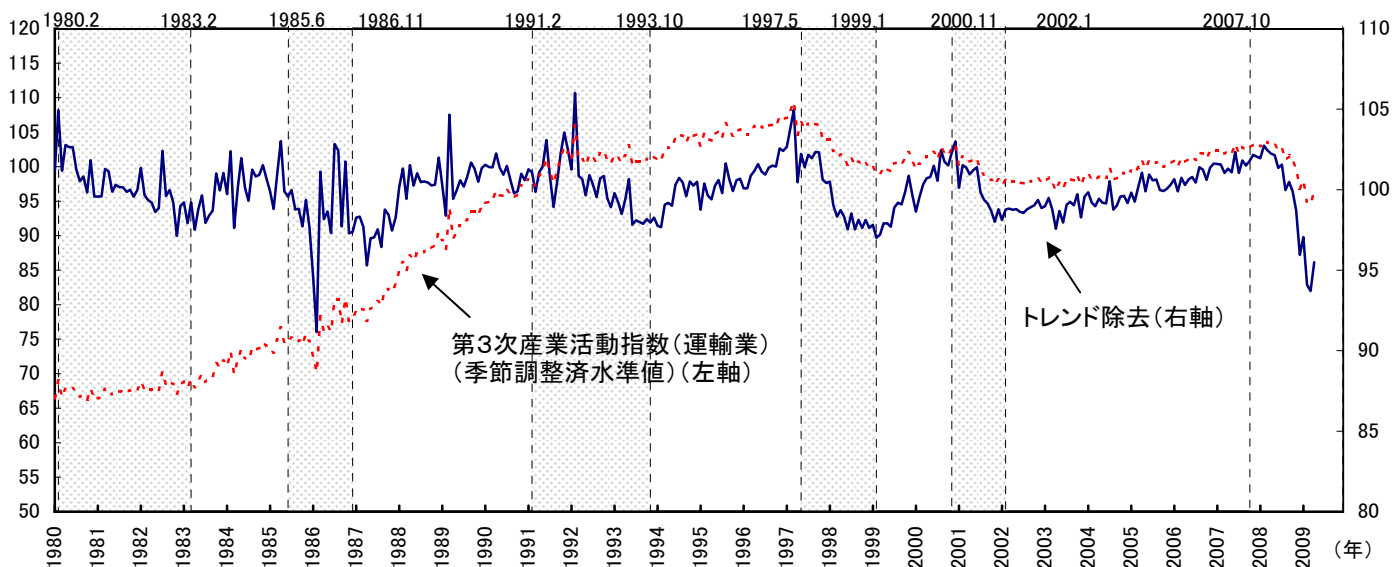


②第3次産業活動指数(総合)の動き(前年同月比、トレンド除去系列)

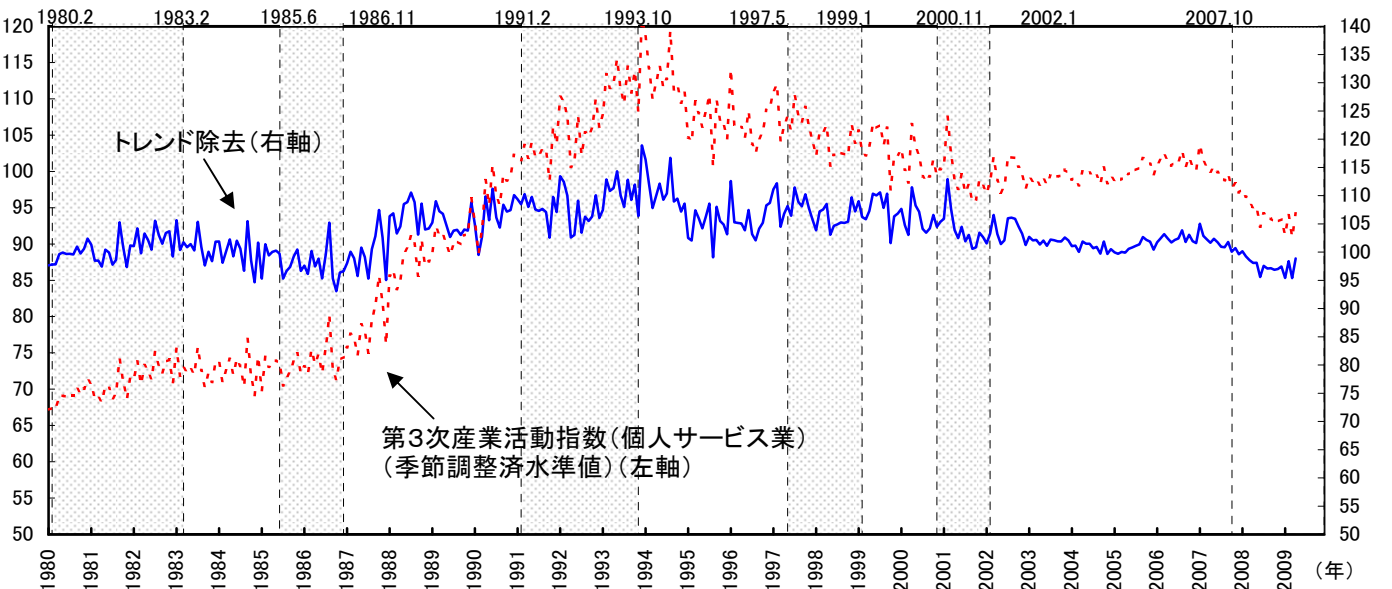


(備考)トレンド除去系列はHPフィルタ($\lambda=129,119$)によりトレンドからの乖離率。

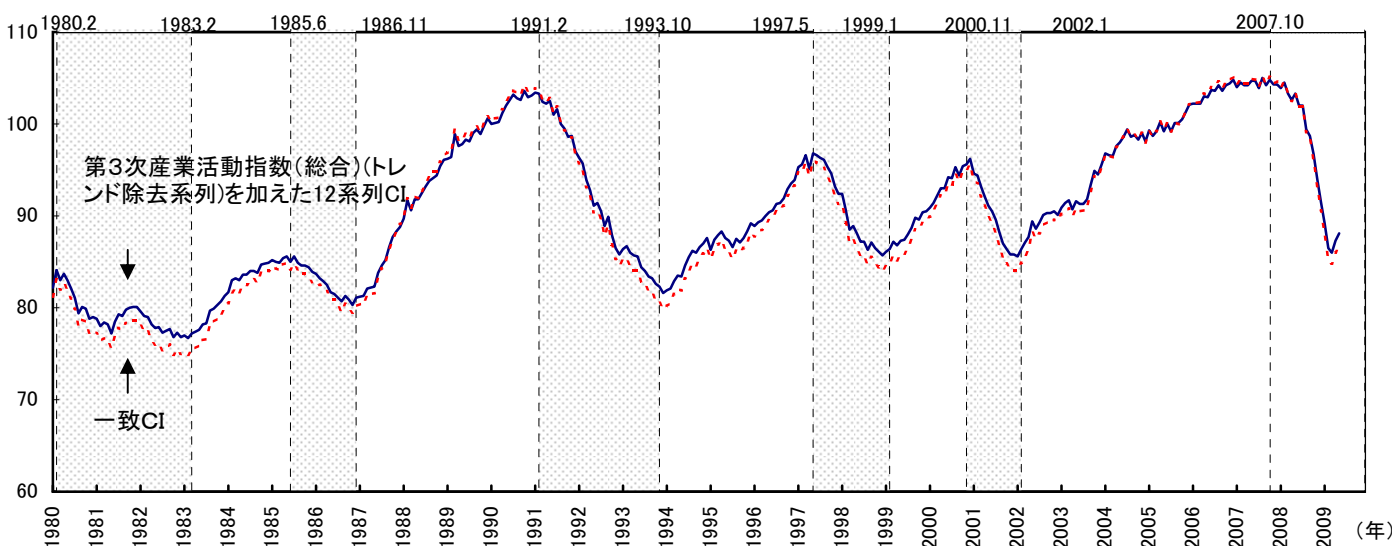
③第3次産業活動指数(運輸業)の動き(季節調整済水準値、トレンド除去系列)



④第3次産業活動指数(個人サービス業)の動き(季節調整済水準値、トレンド除去系列)

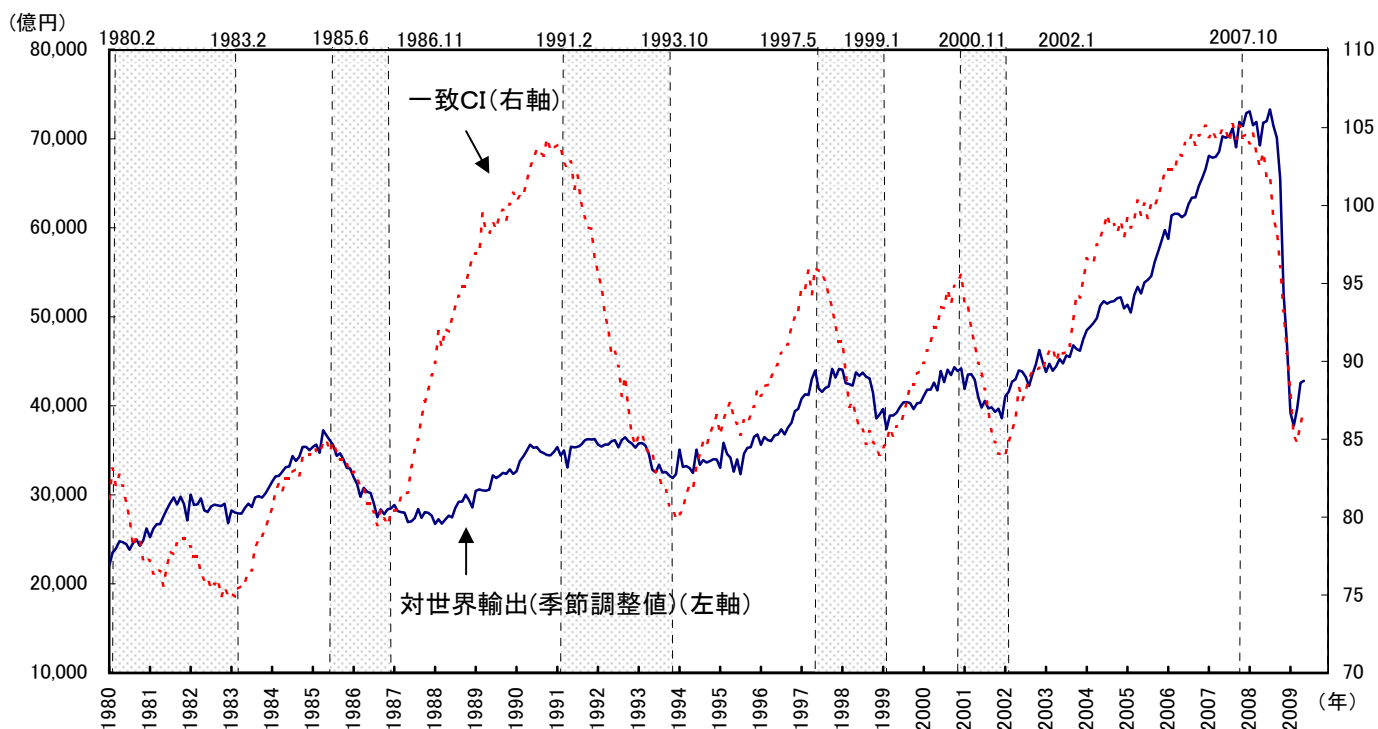


⑤第3次産業活動指数(総合)(トレンド除去系列)を加えた12系列CI

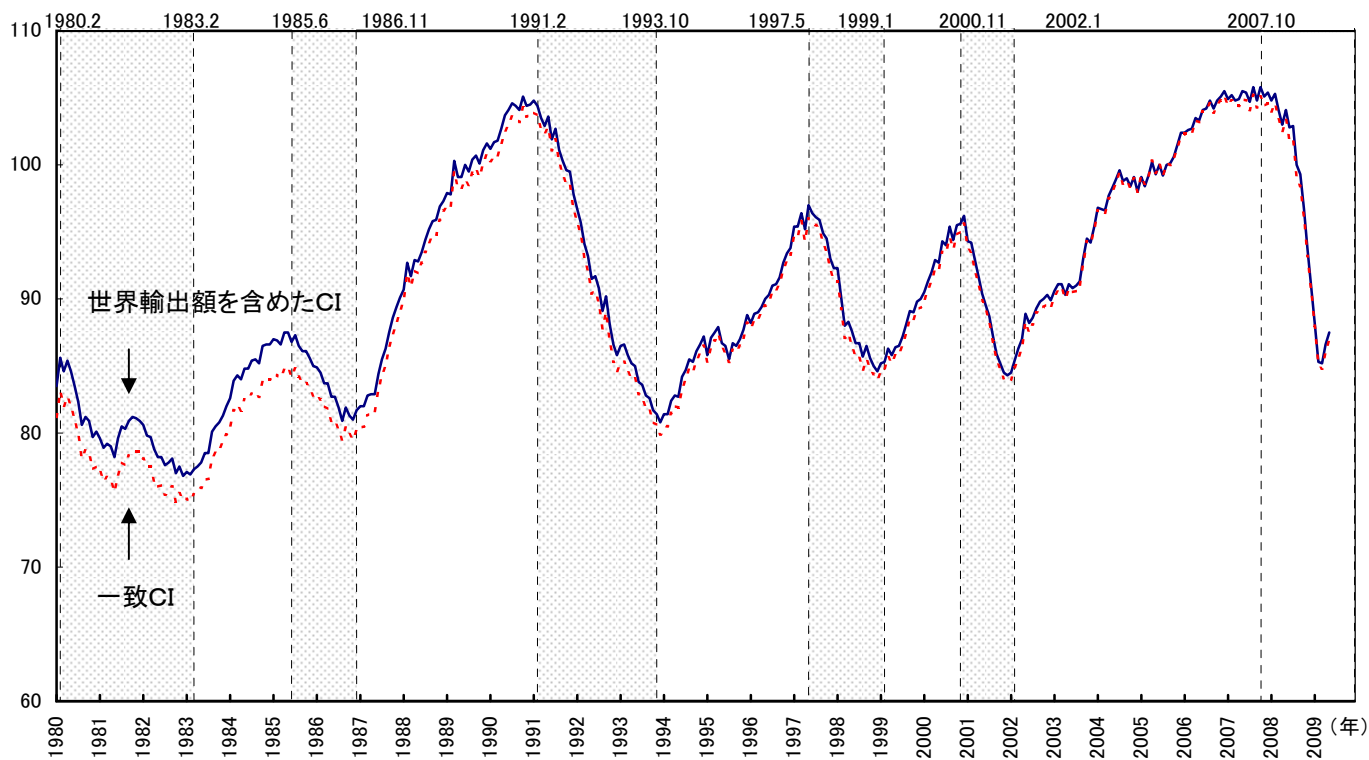


図表6 外需(対世界輸出額)の動き

①対世界輸出(季節調整値)

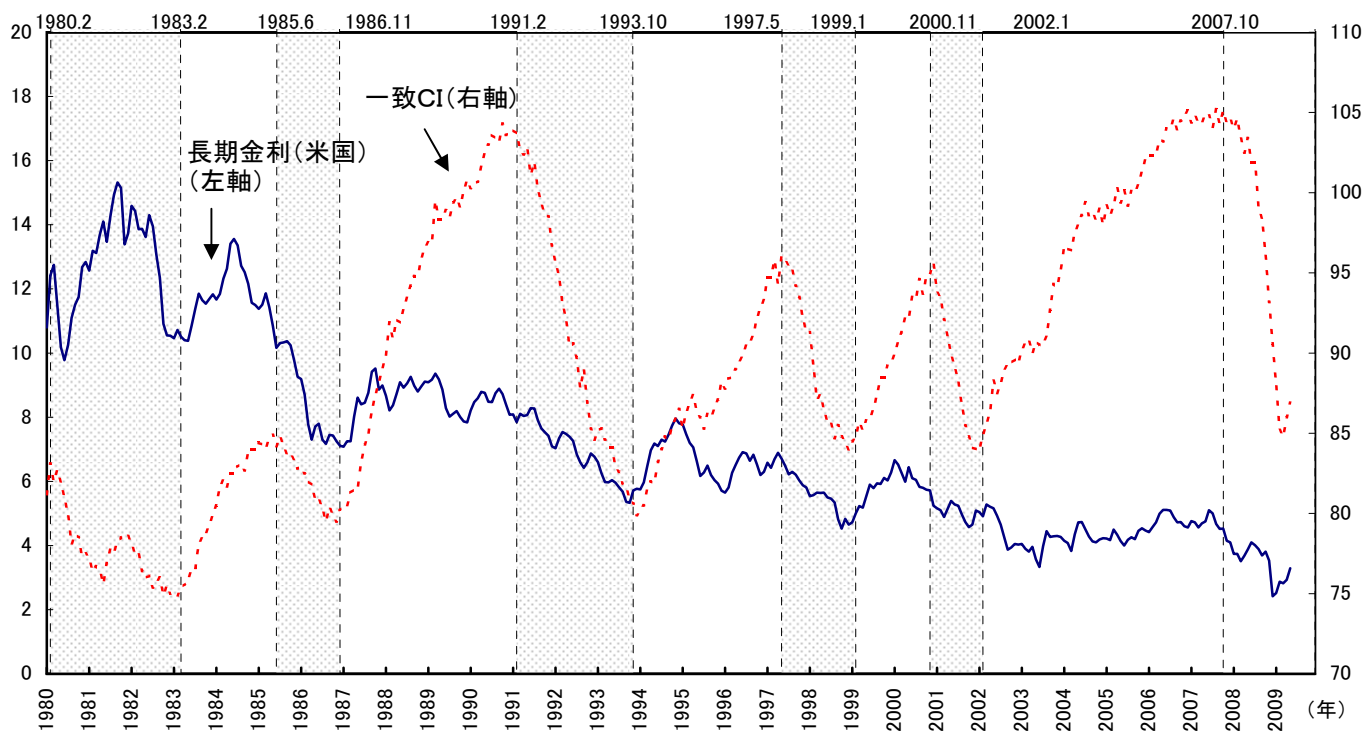


②世界輸出額を含めたCI



図表7 外需に関する先行指標の動き

①米長期金利と一致CI



②OECD先行指数と一致CI

